

令和4年度石橋北小学校 第3回学校運営協議会議事録

令和5年2月14日(火)10:00

於 校長室

【本日参加者】13名

・学校運営協議会委員(10名)

大塩宗里 國枝勝 青柳庄一 齊藤司朗 菊地未来央 若林裕子
坂本美保校長

・地域学校協働活動推進員 橋本俊明

・事務局 金久保貴子教頭 増淵敦子教務主任

【欠席者】 3名 野口利男 竹内美千子 安野和美地域連携教員

1 日程確認

2 協議 10:00~11:40

- 1 会長あいさつ
- 2 校長あいさつ
- 3 協議内容等(進行・・・会長)
 - (1) ボランティア活動報告会について
 - (2) 学校評価について(これまでの取組、学校運営上の課題について)
 - (3) 令和5年度の学校行事
- 4 質疑

会長	1 会長あいさつ ・コロナの収束も見えてきたが、まだまだ油断はできない。学校運営協議会でお手伝いできることがあれば、参加させてほしい。いつも校長だより等を拝見して、子どもたちが元気に頑張っている様子を知ることができる。今回、第3回が開催されて大変嬉しい限りです。
校長	2 校長あいさつ ・昨年は、コロナ感染症の対応のため、書面開催でした。今年度は実施できて良かった。 ・卒業式に向けて、マスクの着用等、難しい判断もあるが、昨年同様、子どもたちが、6年間頑張った思い出になるような卒業式になるよう取り組んでいるところである。 ・昨年12月に石橋中学校区の合同学校運営協議会が開催された。公民館を会場に、5校の学校運営協議会の会長、本校は大塩会長にも参加して頂き、各校長も集まった。各学校の情報交換をした際、北小のボランティアの素晴らしさが話題になった。本当に有り難いことだと改めて感じた次第である。 ・今年1月30日には、令和元年以来、3年ぶりのボランティア活動報告会を開催した。毎年、やりたいと思っていた行事で、しばらく開催できなかったのが、今年度開催できて大変良かった。 ・本日は、来年度のに向けて、今年度の評価と課題について、また、普段の子どもたちの様子なども見て、忌憚のないご意見を頂きたい。
協議(1) 教頭	☆ボランティア活動報告会について ・1月30日に開催した。昨年度も計画を立てていたが、コロナ感染対応のため中止になり、今年度開催できたことは良かった。地域連携教員の安野、澤田も開催できたことを喜んでいる。

・今回、20名のボランティアの方に集まって頂いた。まず、校長からの挨拶と本校のボランティアの組織についての説明があった。この組織については、第1回目の学校運営協議会で示したもので、みなさんも各ボランティアの部の中に入って頂いている。

・本校のボランティア活動としては、安全面と言うことでスクールガード、環境整備、図書活動、読み聞かせ、地域で自宅の近所で子どもたちの登下校を見守ってくださる方である。

・各ボランティアの方に集まって頂き、初めて顔を合わせる方もいた。距離感を縮めるために、簡単なジャンケンゲームを行い和やかな雰囲気となった。

・各グループでの話し合いでは、日々の活動について、また、問題点、課題など話し合った。

・どのグループも話し合いが盛り上がっていた。職員もグループに参加した。

・参加者より、問題点や意見を頂いた。1点目は、登下校の際、不審者対応や緊急時の連絡先を明記したものを名札の裏に入れると良いということで、関係の方に早速対応した。2点目は、ボランティアに参加したいが、いつ、何をやっているのかが分かりにくいという意見が出た。具体的には、年度初めに大まかな参加時期が分かるとより参加しやすくなるのではないかとということで、これに関しては、令和5年度の募集の際にプリントで示せるようにしたい。

・みなさんととても和やかに、話し合いに参加して下さった。是非、今後も続けていきたい活動の一つである。

会長 ・校長先生からも話があった合同学校運営協議会の席でも、北小のボランティア活動が、割とうまくいっているという意見が出ていた。今回の活動報告会でも二つの意見が出たと言うことでしたが、みなさんも何かご意見をお願いします。

委員 ・ボランティア活動を通して、人とのコミュニケーションを図る場となることがよい。
・以前は、学校の奉仕活動があった。地域の人や子どもたちのコミュニケーションの場として、また、その出会いがきっかけで繋がりが広がっていった。子どもを通じて、大人どうしの繋がりが深まり広がっていくのではないか。

会長 ・学校と地域連携ということで、ボランティア活動は大変意義が大きい。

委員 ・ボランティアをするために、仕事の都合をつけてまで参加するのではなく、手の空いたときに、気軽に参加できるような雰囲気があると良い。

会長 ・そうなるためには、年度当初に、ボランティアの予定が示されていると、より参加しやすくなるのではないか。

校長 ・今年度は、年度途中から、落ち葉掃きボランティアを募集した。参加しやすいように、時期などをお知らせできるようにしたい。

委員 ・ボランティア活動報告会に参加して、ボランティアの種類がたくさんあることに驚いた。今後も継続できると良い。
・人材協力バンクのような形で、人材登録ができるようになると更にボランティア活動が広がっていくのではないか。

委員 ・保護者はどんな活動をしているのか。

校長 ・持久走記録会の時の安全ボランティア、ミシンの補助、花壇の整備、図書活動ボランティアなどがあり、年度初めに、募集の案内を示している。

- 会長 ・ボランティア募集の際、学校側からの注意点はありますか。
- 校長 ・活動中に知り得た情報などの秘密保持をお願いしたい。また、ボランティア保険に入ることをお願いしている。一度登録すると3年間は有効となる。安全においても活動に安心して参加できるように加入して頂きたい。
- 委員 ・保護者としては、メールでお知らせして頂けると参加しやすい。メールは、いつでも確認ができるのでよい。
- 校長 ・本校のPTA奉仕作業は、「あせの日」として年3回予定されている。そのうち1回は、9月の第1土曜日に位置付けられているが、このところ保護者の参加は、控えさせて頂いている。そろそろ状況を見て実施できればと思う。
- 委員 ・年に一度は、学校奉仕日として位置付けると、より学校と地域との結び付きが深まり、コミュニケーションも深まるのではないか。

協議(2) ☆学校評価について(これまでの取組、学校運営上の課題について)

- 校長 ・資料を参照(一つは、子ども、保護者、教職員に取ったアンケート結果である。もう一つは、反省を基に、次年度、取り組んでいきたいことをまとめたものである。)

(1) 児童、保護者、教職員アンケート結果

【心豊かな子】について

① あいさつや言葉遣いについて

・本校の3A運動の一つ、「あいさつができる子」として取り組んでいる。あいさつ日本一を目指して3A委員会を中心に頑張っている。

② 相手の気持ちを考え、思いやりの気持ちをもって

・3A運動の「あいての気持ちを考えられる子」に繋がっている。

③ 明るくいきいきと、何事にも前向きに

・児童、保護者の評価が共に昨年より上がった。

④ 自己肯定感

・保護者の評価は上がっているが、児童の評価は昨年と変わらない。

【進んで学ぶ子】について

⑤ 自分から進んで学習に取り組む

・昨年より上がってはいるが、評価が低い。家庭学習として、自主学習のやり方について、各担任が工夫して取り組ませている。

⑥ 基礎的な知識や技能の定着

・児童の評価が上がっているものの、保護者、担任は昨年と変わらない。

⑦ 自分でよく考え、問題を解く

・児童、保護者の評価は上がっているが、教職員の評価は変わらない。

【健康でたくましい子】について

⑧ 授業中や休み時間など積極的に運動する

・児童の評価が上がっている。休み時間に元気に校庭で遊ぶ姿が見られる。

⑨ 自分の目当てに向かって、最後まで粘り強く取り組む

・3A運動の「あきらめずにがんばる子」に繋がっている。児童、保護者、教職員共に評価が上がっている。

⑩ 健康に関心を持ち、安全な生活を心掛けている。

- ・児童の評価が昨年より上がっている。

【信頼される学校】について

①お互いに助け合い学び合う雰囲気がある

- ・昨年は、教職員の評価が100%だった。今年度は少し下がった。

②先生は、一人一人を大切に、熱心に児童の教育に当たっている

- ・昨年度と変わらず高い評価である。

③一部教科担任制について

- ・時間割を組むのは大変だが、教科担任制は、保護者も教職員も高い評価である。

- ・本校のように、1学級が多くクラス替えが無い学校は、教員が教科によって替わることで学びも広がる。また、専門性を生かすことができる。

- ・複数の目で学級を見守ることができ、担任一人ではなく、たくさんの目で子どもたちを育てることができるよさがある。

- ・次年度は、子どもたちのアンケートも取りたい。

④学校は、積極的に学校や児童の様子等を公開している

- ・学校だよりや学年だより等で情報の共有を行っている。

⑤学校は、家庭・地域等と連携・協力して、教育活動の充実を図っている

- ・保護者の評価が上がっている。

- ・更に、学校運営協議会をオープンにして、保護者に会の様子を公開できればと考えている。

⑥適切な教育方針を立て、教育活動を進めている。

- ・保護者の評価が上がった。

【昨年度から、下野市で進めている項目として】

⑦小中一貫教育の目指す子ども像を意識し、特色ある教育活動を進めている

⑧教職員は分かりやすい授業づくりに努めている

⑨児童が楽しく学校に通えるよう、いじめや暴力行為のない学校づくりに努めている

- ・保護者の評価は、昨年より上がっている。数値は上がってはいるが、いじめに関しての記述を読むと、大人が見ていない所で行われているということを重ね受け止めていかなければならない。

(2) 次年度に向けての改善策

【心豊かな子】について

①あいさつ運動の推進

- ・子どもたちは頑張っているが、もう少し具体的な指導と教職員の率先垂範が必要である。

②家庭や地域との連携

- ・学校だより、学年だより、ホームページ等のはたらきかけを継続する。

③人間関係づくり

- ・学級力アンケート(石橋中学校区)の取組)や教育相談を継続する。

- ・学級では、帰りの会等で友達のよさやがんばりを認める場を設定する。

④行事の精選

- ・児童の主体的な取組や活躍の場を図る。また、コロナ感染症の収束に伴ってできることを見直し、児童・教職員の多忙感に繋がらないようにする。

⑤地域の教育力の活用

- ・支援を希望する教育活動の洗い出しと支援依頼を進め、ふれあい学習の推進を図る。

⑥「心豊かな子」を育むための道徳教育の充実

- ・考え、議論する道徳授業への転換と実践を図る。

- ・授業参観での道徳授業の公開を今後も行う。

【進んで学ぶ子】について

- ①主体的な学習を目指した教材研究の充実
 - ・子どもたちが対話しながら学んでいく学習を更に進めていく。
 - ・授業改善（単元・題材を見通した指導計画の実施、ねらいの提示とまとめ、板書計画）を継続する。
- ②「ねらい」と「まとめ」「振り返り」の実践と一体化
 - ・学習の見通しをもち、「ねらい」と「まとめ」の整合性、「振り返り」の場の設定を図る。
 - ・「分かる」「できる」授業づくりを行う。
 - ・学校での学びが家庭学習に繋がるようにする。
- ③きめ細かな指導による学力の保障
 - ・TTを活用した個別指導の充実や児童の実態に応じた教材・教具の活用を図る。
- ④言語活動や体験活動の充実
 - ・児童の学び合いを通して思考を広げたり深めたりする場を設定する。
 - ・児童の作文発表の場として給食時の放送を利用し、書く活動の充実と共に、思考、判断、表現する力を育てる。

【健康でたくましい子】について

- ①運動能力および体力の向上
 - ・握力の低下に伴い、投げる力も低いことが課題である。楽しく活動量のある体育授業や業間活動を展開していく必要がある。
 - ・「とちぎっ子体力雷ジグひろば」の活用を推進し、運動能力の課題の改善を図る。
- ②健康安全教育の充実
 - ・メディアコントロールは課題である。大きなトラブルはないが、児童の寝不足、気力不足は心配である。しっかり睡眠時間を確保し、基本的な生活習慣の確立を図る。
 - ・学校保健給食委員会を3年間実施していないため、是非、次年度は実施したい。

【信頼される学校】について

- ①指導力の向上
 - ・ICT機器の技能向上及び活用方法について研修を深める。
 - ・中学校区での授業研究会への参加や一人一授業の公開等、積極的な取組をする。
- ②互いのよさを認め合い、助け合う教職員集団
 - ・組織の一員としての自覚をもち、「みんなでやる」「気付いたらやる」という意識で取り組む。
- ③問題の未然防止
 - ・全職員で全児童を育てる取組として、共通理解の下、学級・学年の枠を超えて連携、協力して関わる。
 - ・保護者との信頼関係づくりに努める。
- ④地域とともにある学校づくり
 - ・ボランティア活動の充実や保護者や地域の教育力を教育活動の中に積極的に取り入れる。
 - ・学校運営協議会のさらなる充実と推進を図り、教育活動に意見を反映させる。

校長 ・本校は、不登校児童はいないが、登校渋り児童の心配がある。また、あいさつ日本一を目指しているが、継続指導が必要である。以上2点が課題である。

会長 ・具体的に説明して頂き、子どもたちの様子がよく分かりました。

・児童、保護者、教職員アンケートの数値で判断するのは危険だが、北小の特徴がよく現れているように思う。

委員 ・あいさつについての評価は、児童は高いが、保護者は低い。やはり、保護者の方が辛口の評価であると思う。
・教科担任制についての評価は、是非、次年度は児童の評価も入れてほしい。

委員 ・不登校児童は、多くないのですか。他の学校では多いと聞いているが。

校長 ・現在は不登校児童はいないが、登校渋り児童の心配はある。また、今後、中学校進学に伴い、不登校の心配がある。

会長 ・小中一貫の連携・協力がなめらかにいくとよい。不登校の問題はどここの学校でも心配なところである。

委員 ・子どもの心の持ち方など、将来に向けて長い目で指導できると良い。

会長 ・ICT機器、メディアに関する問題は起きていないようだが、学校としてはどのような心配があるのか。

校長 ・子どもたちが家庭で行っているゲームについては、課金してしまったり、友達のアイテムをもらったりするなど、ゲーム中でのやりとりが大人の目の届かないところで行われてしまう。また、「ゲームには終わりが無い」ということが問題である。子どもたちがゲームにコントロールされてしまうのが心配である。

委員 ・グループでゲームをする際、途中で一人だけ抜けるわけにはいかない状況が起きたり、やはり課金の問題が起きたり心配である。
・ICT機器の活用が求められている以上、この問題は難しいと感じる。
・北小では、ICT機器のメンテナンス等について、心配はないか。

校長 ・学校のネットワークセキュリティーはしっかりしている。また、今のところ故障もない。

教頭 ・児童のタブレット導入当初、タッチペンの破損が心配されたが、現在は大丈夫である。

会長 ・メディアコントロールについては、これからも避けられない問題である。

校長 ・タブレットを授業で活用しているが、子どもたちの方が使い方は進んでいて、子どもたちから教職員が教えられることが多い状況である。

委員 ・子どもたちのタブレットの履歴などを確認できるとよい。

委員 ・子どもたちは、家庭ではYouTubeなど日常的に見ている。各家庭でのルールがあると思うが、メディアコントロールについてはやはり心配である。全てが悪いわけではなく、学ぶべきことも多いので、使い方を決めて上手に活用できるとよい。

校長 ・先日、1年生の生活の学習で、子どもたちが校庭で凧あげ遊びをした。うまくあげられない児童も、何度も挑戦しながら楽しく取り組む姿が見られた。
・コロナ感染症対策で、実施が難しかった「昔の遊び」など、地域の大人から学ぶ活

動も今後はできるようになると思う。

協議(3) ☆令和5年度の学校行事

教務

- ・入学式：4月11日
- ・修学旅行：7月6、7日(福島方面)
- ・4年生宿泊学習：9月12、13日(なす高原自然の家)
- ・5年生臨海自然教室：10月31、11月1、2日(とちぎ海浜自然の家)
- ・運動会：11月18日
- ・卒業式：3月15日

質疑(4)

会長

- ・委員のみなさんからたくさん意見や感想を頂きました。
- ・地域学校協働活動推進員からの連絡を頂きます。

(連絡)

地域学校
協働推進
員

- ・先生方は、授業は勿論それ以外の大変さもある。ICT機器の導入、GIGAスクール構想も打ち出され、授業改善に向けて教材研究・研修・実践等苦勞されていると思う。その他、学校内外のことも含めて連絡を取り合っけて計画、立案等されている。
- ・北小は、本日のボランティア活動報告会等や各種ボランティアの活動が盛んに行われ、組織がしっかりしている。教職員の大変さを少しでも和らげるためにも、このボランティアの組織を生かすことが大事だと思う。
- ・久しぶりにボランティア活動報告会ができたということで、今後もこの報告会を中心にボランティアどうしの交流を深め、新たな活動へのステップアップをして頂ければと思う。
- ・学校運営協議会の皆さんもこのボランティアの組織に入っていますので、相談役、また、コーディネーターとして学校の担当者と繋いでいってほしい。そして、国が目指している地域学校協働本部のような形に今後発展していけるとよい。
- ・公民館だよりを発行し、市内の施設に配布している。石橋公民館のオープン式典に際し、北小も合唱を披露して式典を盛り上げて頂いた。今後、施設を地域のみなさん、子どもたちにどんどん利用してほしい。
- ・新年度、子どもたちを対象に「ものづくり」や「料理」などの講座を計画している。また、学童保育にも出向いて地域の方が講師になり、「ものづくり」の講座を行ったり、ジュニアリーダーの中・高校生と一緒に補佐的に加わったりするなどの企画を考えているので、是非利用してほしい。

校長

- ・次年度の学校運営協議会の委員を是非お願いしたい。ご都合が悪い場合は連絡ください。

教頭

- ・次年度の学校運営協議会の予定
 - 第1回 5月12日(金)
 - 第2回 11月22日(水)
 - 第3回 2月9日(金)
- ・本年度最後の学校運営協議会です。ご意見等記入ください。